

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地歴 科目 地理探究

教科： 地歴 科目： 地理探究 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 必修選択選択希望者

教科担当者： 必修選択A：小野寺 必修選択B：圖司

使用教科書：（「新詳地理探究」（46・帝国・地探-702））

教科 地歴 の目標：  
我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる世界史的な考え方や基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 地理探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。	自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	地球規模の大地形や、河川が形成した小地形などのさまざまな地形それぞれについて、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているのかを理解させる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】さまざまな地形について、特徴や成因、人間活動との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】さまざまな地形について、特徴や成因、人間活動との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地形について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	気温や降水量、風など気候要素の地域による差異が生む、地球上のさまざまな生態系。気候の違いについて、その要因、人々の生活に与える影響を理解させる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】気候の違いの要因、人々の生活への影響について理解している。 【思考・判断・表現】気候の違いの要因、人々の生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	21
定期考査			○	○		1	
2 学期	世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などについて、多面的・多角的に考察し、理解させる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】各種の主題図や資料をもとに、世界の地域区分方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解している。 【思考・判断・表現】地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
	日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組めばよいか探究させる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】日本の強み、持続可能な社会を構築していくための取り組みについて理解している。 【思考・判断・表現】日本の強み、持続可能な社会を構築していくための取り組みについて、多面的・多角的に探究し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】将来の国土の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	○	○	○	21
定期考査			○	○		1	
3 学期	現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいか探究させる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて理解している。 【思考・判断・表現】現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて、多面的・多角的に探究し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】持続可能な日本の国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計
							105